



PRESS RELEASE



JC-data

平成 22 年 8 月 23 日

ジャパン ケーブルキャスト株式会社

山口ケーブルビジョンが JC-data データ放送サービス開始！

防災・災害情報緊急告知、地域密着情報、その他コンテンツを盛り込んだ、総合情報提供のデータ放送を実現

山口ケーブルビジョン株式会社(以下 C-able、所在地:山口県山口市 取締役社長:齋藤 宗房)は、ジャパンケーブルキャスト株式会社(以下、ケーブルキャスト、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:相坂 吉郎)が提供するケーブルテレビ局向けデータ放送サービス「JC-data」(ジェイシー・データ)を利用し、コミュニティチャンネルでのデータ放送を平成 22 年 6 月 28 日より一般視聴者向けに開始されましたので、お知らせ致します。

C-able は、災害情報や避難情報といった地域情報を、同社のコミュニティチャンネルを通じて、地域住民にお知らせしています。これまでアナログ放送の L 字放送を利用し、災害情報を呼びかけていましたが、この度データ放送を導入し、デジタル放送でより細かな災害情報の配信を開始されました。視聴世帯の郵便番号に応じた地域の災害情報を配信することで、(参考資料) 従来に比較して即座に周辺地域の緊急情報を表示することが可能となりました。

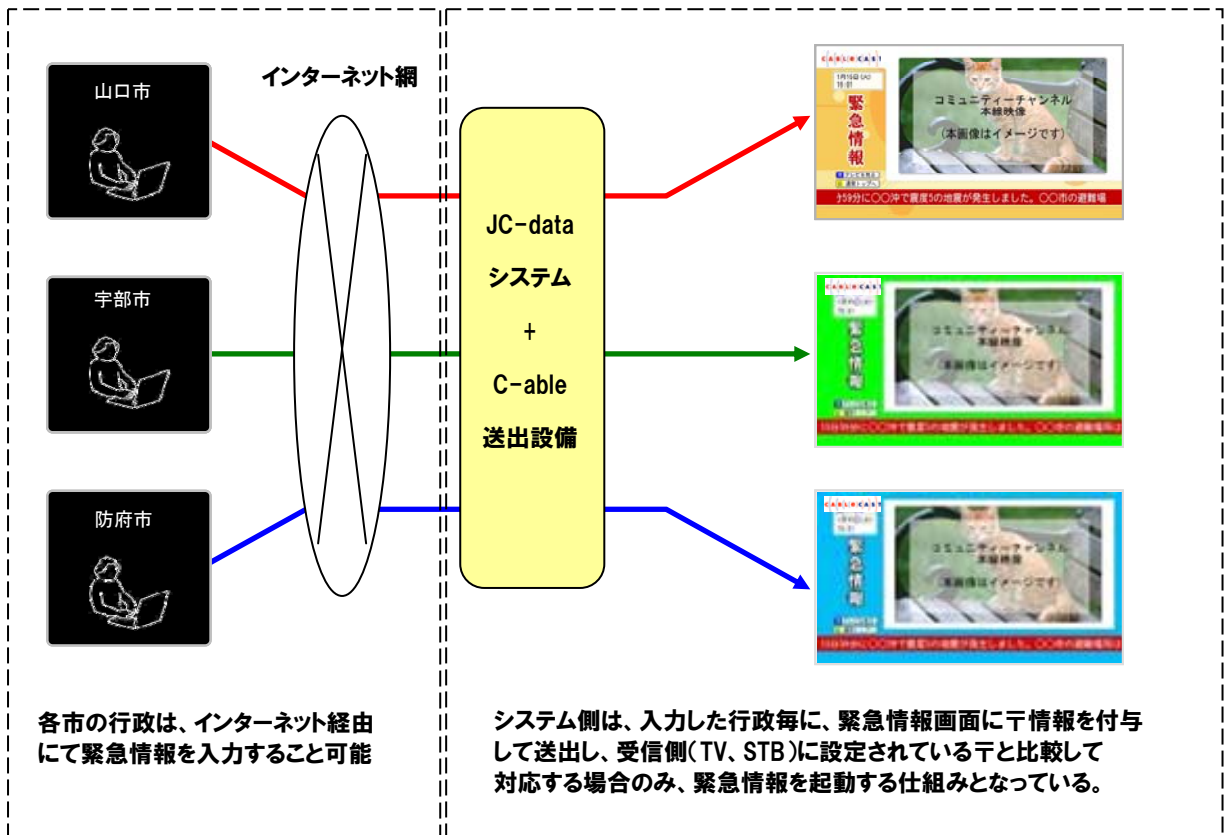
この、郵便番号による緊急情報の地域区分表示機能は、今回から新たに加わった JC-data の新機能です。これは予め受信機に登録されている郵便番号を参照し、その郵便番号に対応した地域の緊急情報の画面を自動起動する仕組みです。緊急情報の入力、起動トリガは、インターネット経由で入力する CMS(外部 CMS)からも可能となっている他、ケーブル局様側の情報ソースにて、緊急情報を自動起動させることも可能です。

また C-able は、地元企業との連携を目的に、データ放送に、「おくやみ」のコンテンツを取り入れました。まずは地域2社の葬祭企業と連携し、葬祭企業からメールにて受信する内容を、データ放送に反映し、地域に配信します。さらに、地域行政(山口市、宇部市、防府市)とも連携し、災害情報の呼びかけや市の広報情報をデータ放送に取り入れています。将来的には、交通情報及び山口県警情報にも力を入れていくとのことで、さらに地域住民に貢献するデータ放送となることが期待できます。

ケーブルキャストでは、引き続き地域の情報配信に貢献するデータ放送システムの充実を図ってまいります。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(本件に関するお問い合わせ先)
 ジャパン ケーブルキャスト(株) データ放送事業部
 電話 03-6910-2906
 URL: <http://www.cablecast.co.jp>

【参考】



<地域出し分け対応緊急情報表示 TOP テンプレート>

1. 現在日時が表示されます。
2. 情報配信主体が表示されます。(CMS からの入力・変更可能)
3. リモコンの色ボタンを押すと様々な情報を表示します。
4. データ放送を見ている視聴者に対し、緊急情報を右から左にスライドさせて流すことが可能です。最大で全角500文字まで入力できます。文言は、CMS より編集可能です。